

トピックス

江別高校生活デザイン科の授業・行事あれこれ

北海道江別高等学校
生活デザイン科
No.14
令和8年10月6日

家庭クラブ研究発表大会・総会

全道の家庭クラブ員が
研究成果を発表

9月30日(水)、令和8年度北海道高等学校家庭クラブ研究発表大会・総会がオンラインで開催されました。今年度は、学校家庭クラブ活動の部5校、ホームプロジェクトの部3校が参加し、それぞれの学校で取り組んできた研究や活動の成果を発表しました。全道各地から一堂に会することが難しい北海道ですが、オンラインでの開催により、遠方の学校からも参加しやすくなっています。参加者からも、オンラインであれば参加しやすいという声が聞かれました。



総会の様子

総会では、本校家庭クラブ員が副議長、書記、会計監査を務め、大会の運営にも積極的に参加しました。

また、本校生活デザイン科2年田中きりりさん、1年斉藤 律さんから、7月23日(木)・24日(金)に、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された第67回全国高等学校家庭クラブ指導者養成講座の参加報告がありました。

午後には実施されたホームプロジェクトの部の発表に、本校生活デザイン科2年辻川未桜さんが、「アレルギーがあっても安心できる災害生活へ」と題して発表しました。辻川さんは、食物アレルギーをきっかけに、災害時の食物アレルギーへの備えについて研究しました。家庭でできる備えとして、アレルギー対応食品の備蓄、アレルギー情報の共有、災害時の行動を家族で話し合っておくことの3点をまとめ、さらに、卵と牛乳を使わず災害時にも作ることができる「防災パン」の試作にも取り組みました。



報告をする田中さんと斉藤さん



発表中の辻川さん

して、全道の家庭クラブ員と交流することができた今回の大会。学んだことを発表するだけでなく、運営や交流にも主体的に関わることで、家庭クラブ活動の意義を改めて感じる機会となりました。

すべての発表が終わった後、生徒交流会が実施されました。オンラインで各校とつながりながら「食パンマグネット」の制作を行いました。完成した作品をカメラに向けて見せ合い、「かわいい」「すごい」など、互いの作品について感想を伝え合いました。普段からものづくりに取り組んでいる本校の生徒たちは、積極的に装飾を工夫し、それぞれ個性あふれるマグネットを完成させました。研究発表だけでなく、総会や生徒交流会を通



本校生徒の作品



全員完成させました